



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その91

東京上野公園内にある「法隆寺宝物館」です。1999年に谷口吉生の設計で開館しました。街の喧騒から離れた公園の端にあり、水盤を渡る通路を歩いてアプローチします。エントランスホールは、光が溢れる吹抜け空間で、そこから暗めの展示空間へと導かれます。規則正しく並ぶ展示ケースもミニマムにデザインされ、必要最小限の照明で屹立しています。

CURRENTLY WORKS



建設会社のエントランスホール改修 その2…中央と周囲との対比

基本的には、「中央」を焦点としてデザインしていますが、それを支援するための「周囲」にも注力しています。天井も含め濃色を多用しつつ求められた事務室受付窓口を要にグラフィック処理を付し、空間全体が左右対称となるようデザインしています。比較的来客の少ないオフィスですが、手堅い社風に合わせ、信頼感を感じさせる空間を目指しました。

PRIVATE TOPICS



藤原のこだわり その19

京都の高台寺の向いにある「圓徳院」です。ここは高台寺の塔頭寺院の一つで、豊臣秀吉の妻、北政所ねねが晩年を過ごしたことで有名です。ここの「北庭」は、伏見城から移され、その後小堀遠州が整えたものです。この庭は石を多く配置した枯山水庭園で、春夏は青葉を、秋はモミジの紅葉及び夜間ライトアップと非常に美しい景観が楽しめます。

EDITIONAL NOTE

2月の節分には豆まきをします。豆は「魔を滅する」を意味し、無病息災を祈願します。まいた豆から芽が出るのは縁起が悪いと言われ、大豆を炒って、神棚にお供えしてから、豆まきをします。その後歳の数だけ食べますが、福豆3粒に梅干しと塩昆布を加えた「福茶」を飲めば同様の効果があります。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島